

選手宣誓！ チーバくんも参加です。



10月12日、富津市ふれあいスポーツフェスタが開催されました。来年開催のゆめ半島千葉国体のマスコットキャラクター チーバくんも子供達に交じって応援です。



「落日一閃」^{せん} 富津岬・明治百年記念展望塔に沈む夕日
(写真提供／富津・相原清二さん)

富津絶景⑤

毎号、富津市内の素晴らしい絶景スポットを紹介しています。今回は一般の市民の方からの投稿を採用させていただきました。皆さんもこっそり独り占めせず、喜びを分けてください。ご応募をお待ちしています。

9月定例会・委員会報告 …	2・3P
20年度決算審査の報告 ……	4・5P
代表質問・個人質問 ……	6～9P
常任委員会の視察報告 ……	9P
広域行政について ……	10・11P
トピックス・定例会日程 ……	12P

9月定例会の報告

9月定例会は、9月1日から9月25日までの25日間で開催されました。議案16件、報告3件、陳情3件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。



財産取得について
 消防ポンプ車(CDI泡放水機能付)を更新します。
 取得金額 3381万円

総務常任委員会

一般会計補正予算	
・総務管理費	3592万円
・徴税費	1491万円
・戸籍住民基本台帳費	172万円
・選挙費	149万円
・統計調査費	48万円
・監査委員費	103万円減額

教育福祉

常任委員会

国民健康保険条例の一部を改正
 出産したときに支給する出産育児一時金について、国からの補助金により特例期間(平成21年10月から平成23年3月まで)、38万円を42万円に増します。



一般会計補正予算 教育福祉事業が拡大

・子育て応援特別手当	3684万円
・女性特有のがん検診推進事業費	1151万円
・障害者自立支援費	1億3902万円
・生活保護費	557万円
・食育推進事業	122万円
・コミュニティ推進事業	250万円

特別会計補正予算

◆国民健康保険事業 追加補正額	9144万円
・後期高齢者支援金等	2568万円
・基金積立金	9253万円
・償還金及び還付加算金	4409万円
・予備費	8000万円の減額
◆老人医療特別会計 制度変更に伴う減額補正	1342万円
◆介護保険事業 追加補正額	5996万円
・職員人件費等減額	448万円
・介護保険給付準備基金積立金	3196万円
・償還金及び還付加算金 (前年度分確定に伴う国・県費返還金等)	2447万円

議員全員協議会

◆庁舎周辺の土地利用について
 消防本部庁舎(仮称)福祉教育施設
 の配置計画が報告されました。



建設経済

常任委員会

一般会計補正予算

消費生活対策費

195万円

類発する悪質商法の被害を防止するため、市民への啓発用パンフレットを製作し周知につとめます。

道路改良工事費

101万円

青木地区市道の降雨による冠水を防止するため、排水整備を行います。

農村青少年研修センター

(富津市八幡)が廃止

昭和47年以来、農村青少年研修センターとして利用されてきた建物は、千葉県所有で富津市に無償貸与されていたものです。

今回、県において、当初の目的を達成したので取り壊すとの決定を受け関係する条例を廃止します。



陳情の審議結果

件名	提出者	審議結果
市営水道の整備に関する陳情書 地区内3集落で簡易水道を運営して利用しているが内容は、近くの小川を堰きため生活用水としている。近年イノシシや鹿の糞尿で水源が汚染されている。良質な水の確保に限界がきているため、一刻も早く市営水道の配水をお願いします。	峰上第15区市営水道設置推進協議会 会長 他	採択 (賛成全員)
上水道整備に関する陳情書 富津市の水道事業給水事業地区に当地区は入っていません。渇水期には水量の確保ができない状況にあります。このような状況を汲み取っていただき、早急に当地区を計画給水区域に編入し、整備を進めるよう陳情します。	峰上第10区 区長 峰上第11区 区長	採択 (賛成全員)
現行保育制度に基づく保育施設の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書 公立保育所の減少が進み、少子化の進行にもかかわらず、保育所に入れない待機児童は増加の一途をたどり深刻な事態が広がっています。この状況下、国に対して現行保育制度の堅持・拡充と保育・子育て支援予算の大幅増額等を求める陳情でしたが、現在、多岐にわたり検討されていること、また、政権交代があり、今後の見通しがつかないこと等を鑑み、現時点では時期尚早であると判断し、不採択としました。	千葉県保育問題協議会 会長	不採択 (賛成少数)

報告

*健全化判断比率及び資金不足の比率の報告について

実質公債費比率について

平成20年度の実質公債費比率は12.1%になっており、早期健全化基準の25.0%と比較すると、これを下回りました。

将来負担比率について

平成20年度の将来負担比率は162.9%となっており、早期健全化基準の350.0%と比較すると、これを下回りました。

公営企業資金不足比率について

水道事業会計、温泉供給事業特別会計のいずれも資金不足が生じていません。

◆健全化判断比率について

健全化判断比率	早期健全化基準	平成20年度	平成19年度
実質赤字比率	13.19%	—	—
連結実質赤字比率	18.19%	—	—
実質公債費比率	25.0%	12.1%	13.3%
将来負担比率	350.0%	162.9%	157.2%

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、黒字のため「-」と表示しています。
※連結実質赤字比率の財政再生基準は、3年間(平成21~23年度)の経過的な基準(40%→40%→35%)を設けています。

◆各公営企業の資金不足比率について

会計名	経営健全化基準	資金不足比率(H20)	資金不足比率(H19)
水道事業会計	20.0%	—	—
温泉供給事業特別会計	20.0%	—	—

契約締結状況

平成21年5月20日から平成21年8月18日まで

9月定例会において、2千万円以上契約締結を行った6件の入札結果の報告を受けましたので主な案件について報告します。

*天羽中学校校舎耐震補強工事



契約金額: 1億700万円
工期: H21. 5. 29~H21. 12. 25

*青堀小学校特別教室棟耐震補強工事



契約金額: 1億2652万円
工期: H21. 8. 19~H22. 3. 25

しました。

決算審査特別委員会委員 (11名)

委員長	平野 良一	副委員長	永井庄一郎
委員	福原 敏夫	鈴木 幹雄	平野 明彦
	岩崎 剛久	石井 志郎	岩本 朗
	松原 和江	佐久間 勇	渡辺 務



有害獣(イノシシ)被害現場

価と次年度予算などへの反映を目的に決算審査を行ないます。審査の結果、7会計全てが認定されました。

審査の中で質問のあった項目のうち、主なものをここで紹介します。

産業振興のこと



イノシシ管理事業等について

農業振興総務費の野生猿鹿保護管理事業委託料、有害鳥獣駆除事業委託料、イノシシ管理事業委託料、文化財保護費の高宕山のサル被害防止事業、観光施設関係費の高宕山自然動物園指定管理料の関連について質疑がなされました。

中小企業資金融資対策事業について

制度の内容について、銀行・保証協会・市との関連について質疑がなされました。

国保のこと



特定健康診査について

受診目標41%だが、集団検診(40歳~64歳) 23.5%、個別検診(65歳~74歳) 42.4%。基本健康診査時からデータを蓄積しており、全国の各医療保険者から相互利用できます。

人間ドック助成について

富津市では対象年齢が20歳から、最大7万円の助成。1年間病気になっていないなど条件はありますが、市内の病院、君津中央病院などで利用できます。

市役所のこと



「広報ふつつ」の郵送について

希望者に対して毎月約500名に送付(郵送料約50万円)しています。

交通のこと



市内路線バス運行対策について

燃料費の高騰や利用者の減によって前年度より市の負担額は増加しましたが、高齢者や通勤・通学者等の交通手段は引き続き確保していきます。

市民福祉のこと



障害者自立支援費の不用額が多いのは?

利用者と事業者が直接契約を結ぶ制度になり、居宅での利用に大きな変動があったためです。

障害者自立支援費の介護給付費増額要因について

障害者が施設で暮らすだけでなく、地域で社会参加するための居宅給付が増加しました。

君津中央病院負担額について

平成20年度4市負担総額は15億円(内富津市負担額約2億8千万円)と減少。富津市負担額も人口減・利用者減もあり減少しています。中央病院全体では、155億円の収入でしたが、2億6千万の赤字。大佐和分院も6億円の収入でしたが、2300万円の赤字となりました。

防災のこと



AED(自動体外式除細動器)について

AEDの電池などの管理はリースなので問題はなく、市内には市役所庁舎、天羽行政センター、各小中学校、市民会館、公民館などに配備されています。

防災備品の基準について

防災備蓄倉庫などの備蓄品は、サバイバル食2万1千食、飲料水2万1千リットル(各7千人分で1日分)を備蓄目標としています。

消火栓設置事業について

消火栓・防火水槽の設置要望はありますが、水道の敷設に合わせて消火栓の整備を進めています。また、老朽化も進んでおり、改修の必要性も高くなっています。

平成20年度の決算を審査



決算書、成果説明書、監査報告書をもとに、議会中に設置された決算審査特別委員会において、平成20年度決算の審査を行いました。富津市では一般会計のほか、4つの特別会計と2つの企業会計の計7会計があります。

議会では、監査委員が行う数字や関係書

類等の吟味・精査（監査報告書として提出）とは異なり、予算が適正に効率的に執行されたかどうか、それによってどのように行政効果が発揮されたか、それをうけて、今後の行財政運営においてどのような改善工夫がなされるべきであるかについて、さまざまな角度から検証することで、事業の評

平成20年度決算

(単位：万円)

会計名	当初予算額	決算額			
		歳入	歳出	差引額	
一般会計	1,629,000	1,621,140	1,594,702	26,438	
特別会計	国民健康保険事業	669,761	641,740	619,433	22,307
	老人医療	60,067	41,640	41,540	100
	後期高齢者医療特別会計	47,038	39,011	38,481	530
	介護保険事業	309,236	315,299	309,520	5,779
会計名	当初予算額	収入	支出	差引額	
企業会計	水道事業会計	146,130	147,567	145,003	2,564
	収益的収支	148,975			
	水道事業会計	42,789	32,586	68,984	▲ 36,398
	資本的収支	86,257			
	温泉供給事業	119	116	227	▲ 111
	収益的収支	258			
温泉供給事業	3	0	0	0	
資本的収支	3				

※ 企業会計の当初予算額は上段が収入、下段が支出です。
 ※ 水道事業会計収益的収支は消費税及び地方消費税を抜いた額です。

平成20年度徴収状況

(単位：万円)

税目	調定額	収入済額	収入未済額
市民税	361,044	327,979	31,536
固定資産税	604,538	550,099	50,057
国民健康保険税	289,342	196,141	86,266
後期高齢者医療特別会計	27,262	26,895	366
介護保険料	57,966	55,458	1,853

調定額：決定した税金等の額
 収入済額：納入された税金等の額
 収入未済額：未だ納められていない税金等の額



改修工事を終えた市民ふれあい公園富津臨海野球場

まちづくりのこと

住宅耐震相談事業について

対象家屋3000戸に対し年間4回の相談会を実施しています。耐震改修促進計画では、平成27年度の耐震化率90%を目標にしています。



水道のこと

配水整備について

水道の配水管と家屋まで距離のあるところも一部ありますが、配水管整備については、集落の公共施設を目標にループ化できるように敷設しています。



歳入のこと

収入未済額の増加要因について

三位一体改革の一環として、所得税から住民税への税源移譲が行われ、住民税の税率変更（所得割の10%フラット化）により滞納額が増えました。



新富（富津地区工業用地）からの税収について

前年度と比較して1億1千700万円の減収である。調定額の内訳は、土地3億9千400万円、家屋4億5800万円、償却資産26億2500万円との説明でした。

*会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内(質疑応答で150分)であれば同じ
会派の人が関連質問をすることもできます。

青木土地区画整理事業について 残土埋立ての特定事業について

賢政会



福原 敏夫
議員

問 青木土地区画整理事業の現状と今後の予定について。

市長 平成18年11月13日、金融機関から千葉地方裁判所木更津支部に貸し金請求事件として組合及び保証人に対し訴状が提出され、平成20年8月25日の第21回口頭弁論において、裁判所から賦課金を主とした和解勧告案が示されたことから、平成21年2月1日、組合総会において、賦課金と賦課金徴収規程を決議。また、富津市に対し裁判所から支援要請が提示され、その内容を精査、検討した結果、組合の事実上の崩壊による換地予定地の中途凍結化、土地スラム化など地域経済の悪影響を回避するため、支援することに決定した。これにより事前交渉が行われた結果、和解に至った。今後は、賦課金の徴収及び保留地の処分、並びに換地処分に加え、借入金がスムーズに返済できるように、指導及び支援をしたいと考えている。

問 残土埋立て特定事業について。

市長 県土砂等の対策会議で、隣接地権者の同意を盛り込むなどの県条例強化を近隣市とともに要請したが、県は財産権を侵害するとして、条例改正は考えていないと



青木土地区画整理事業地内の住宅地

の回答であった。県内の独自条例の制定内容を見ると、住民同意などを盛り込んだものや、飲料水の保全を盾とした独自条例を制定している状況であるので、財産権の問題や水質の保全の強化の方法、埋め立て技術の基準等、専門知識を有する方に相談や指導を受けながら進めていきたいと考えている。

問 健康スポーツ都市宣言の考えは。

教育長 宣言することは、市民の健康増進と体力向上、市のイメージアップにもつながるので現在、県内の健康、スポーツに関する宣言を行った自治体の調査も実施し庁内各部署と連携を図り、更に調査、準備を進めていきたい。

浅間山跡地開発について 情報通信基盤整備について

賢政会



平野 明彦
議員

問 浅間山跡地の現況について。

市長 これまで検討を重ねてきたが、今だに活用がなされていない。現在、バイオマス利活用等研究会や市職員による富津市バイオマスタウン構想検討会で検討している。

問 かずさ農商工連携・観光交流モデル事業について。

経環部長 企業誘致、地域産業振興、自然資本を活用した観光交流等を通じて地域再生を目指すもの。バイオマスとは直接関係ない。

問 バイオマス利活用等研究会は7月までに結論を出すところだが。

企財部長 この研究会は市から提言して検討してもらっているが、まだ結論は出ていない。

問 庁内のバイオマス検討会は。

企財部長 バイオマスタウン構想の策定について検討しており、9月か10月に決定したい。

問 富津市にバイオマスの資源として何があるのか。

企財部長 農産系、畜産系、林産系、産業系(食品加工残渣・下水汚泥等)とあるが、近隣4市南房総等を含めた中で考えないと難しい。

問 富津市の情報格差の現状は。

市長 市内の99%に高速ブロードバンドの整備がされている。未整



浅間山の砂利採取場跡地

備地域は、市民ニーズを把握しながらN-TTに要望していきたい。

問 光ケーブルの状況は。

企財部長 旧富津地区、大貫(65局)地区までは引かれている。佐貫以南はN-TTと協議を進めたい。

問 今後の整備について。

企財部長 天羽地区は10月をめどにアンケート調査を実施する。

問 地元からの要望はあるのか。

企財部長 通信できない地域の調査等を行っているが、要望が強ければN-TTに要望していきたい。

問 難視聴区域の地デジ対策は。

企財部長 市の調査で全く見られない区域は、戸面原、逆木、宇藤木、上郷の4区域。県と歩調を合わせて解消を要望していきたい。

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
 企財部長（企画財政部長） 健福部長（健康福祉部長）
 経環部長（経済環境部長）

富津市次世代育成支援 行動計画について



朗 議員
岩本

問 計画に掲げた施策及び事業について、効率的に推進するために活用してきた、P D C Aサイクルの効果について。

市長 毎年度4月から5月までに次世代育成支援行動計画の前年度の進捗状況を調査、分析し、その結果を庁内会議及び関係団体や市民代表からなる富津市次世代育成支援行動計画推進会議において評価、見直しを行い、その結果を踏まえ、当該年度の事業計画に反映させて、各種施策を推進しているところである。

問 毎年度、計画の進捗状況は広報など、多様な媒体を活用して市民に広く公表しますとありますが現在の状況はどのように公表しているのか。

健福部長 公表は大変重要であり、その量が多かったために、広報等に載せることができず、懇談会の委員に提示して所属団体等に伝えていただいたのみということについて、反省している。

問 富津市における少子化の現状を考えると、少子化に歯止めをかける事業計画について、どのように考え、取り組んでいくのか。
市長 少子化対策は、継続的、安

定的な施策の継続が求められることから、平成22年度から始まる後期行動計画は、現行の計画を基本に策定したいと考えている。

問 5年間の取組みで、効果として少子化を食止める事が出来たかどうか。

健福部長 少子化に関しましては国を挙げての取組みです。富津市だけではなくて、ほかの市町村も皆必死になって取組んでいる。この5年間、それなりの成果は上がっていると思う。富津市で働くお父さんやお母さんが安心していても子供を保育所(園)に預けられる状況の確保について質、量ともに向上してきていると考えている。



5年間の取組み状況を踏まえた上で、改めて5年間（平成22～26年度）の計画を策定します。

小中学生の通学費の 補助について



和江 議員
松原

問 遠距離通学とは、どの位の範囲からか、市には規定があるのか。
教育長 ない。国の法律では、適正な通学距離が、小学校はおおむね4 km以内、中学校はおおむね6 km以内。

問 竹岡小学校には、4 km以上の通学児童と路線バス通学が何人いるのか。

教育部長 4 km以上は白狐地区から2名のみ。萩生地区から27名がバス通学している。

問 佐貫小学校ではどうか。

教育部長 4 km以上は9名。そのうち路線バス通学は5名。

問 富津小学校ではどうか。

教育部長 4 km以上はないが、篠部地区から路線バス通学が25名。

問 その他の小学校はどうか。

教育部長 4 km以上は金谷小で2名。関豊小で4名。両地域には路線バスがない。

問 旧環南小学校区から環小と天羽東中へ通う児童生徒には、スクールバスが出ているが、一般の人でも無料で乗れるのか。

教育部長 そうです。

問 路線バス定期代は個人負担。
 竹岡小は月4680円。佐貫小は月4140円。富津小は月324

0円。同じ小学生なのにスクールバスは無料なのに路線バスには補助がない。中学生には、通学費の補助規則があるのに小学生にはない。規則がないから補助を出さないのか。

教育部長 スクールバスは、統廃合等の中で対応している。現状では路線バスへの補助は難しい。

問 通学途中の小学生が殺害され、平成18年、国から安全のため路線バスを活用しよう通知があった。市はどう受け止めたのか。

教育部長 通知の前から、保護者と学校の協議で路線バスを活用している。通学費の補助は、今後の再配置構想等の進展によって、当然見直さなければいけない。



遠距離から環小学校と天羽東中学校に通学する児童生徒用のスクールバス

二つの自然災害から 富津市民を守るには



藤川 正美
議員

問 水害のハザードマップの進捗状況は。

市長 今月中旬に、区長回覧で全戸配布予定。

問 千葉県県のホームページには、WINC2(Weather InformationChiBa2)というページがあり、リアルタイムで、雨量と河川の水位情報を知らせている。市としてももっと広報すべきと思うが。

建設部長 昨年の「広報ふつつ」7月号で知らせ、今回のハザードマップでも紹介している。

問 近くの市原市では、防災ラジオというものを、1台1500円で販売している。AM・FM放送が聞け、照明の機能もついており、通常の放送を聞いている途中でも、防災行政無線の内容が優先して流れる仕組み。富津市に合っていると思うが、印象を聞きたい。

総務部長 今回の補正予算で戸別受信機を整備する。また長年、検討していた連動電話応答通報装置が設置の予定になった。防災ラジオについては、財源のこともあり、これから検討したい。

問 イノシシの被害状況の推移と現況は。

市長 平成14年度は、被害額約7

40万円。平成18年度は、約3617万円。平成20年度は、駆除事業強化の効果で、約1700万円になった。千葉県や周辺市町と連携をとり、効果的な対処方法を考えている。

問 イノシシの平成21年度、県の駆除許可頭数は。

経環部長 富津市は、800頭。

問 先月、君津市で猿の駆除中に死亡事故があった。富津市において、保険はどうなっているのか。

経環部長 富津市有害鳥獣対策協議会の猟友会は、大日本猟友会狩猟共済と、一般のハンター保険に加入しており、イノシシ駆除会は、賠償責任保険、傷害保険として日新火災の保険に加入している。



完成した富津市洪水ハザードマップ (小糸川・湊川)

妊婦健診、夜間保育及 びアライグマ対策は



十川 敬三
議員

問 妊婦健診費用の助成の現状は。

市長 妊婦一人14回、8万8210円の補助で、この額を超えた分が自己負担となる。

問 県内には全額助成している市もあるが、金額を増やせないのか。

健康部長 4市で協定した額なので、富津市だけ別枠で考える訳にはいかない。御理解を願いたい。

問 国の財政支援は、平成22年度末までだが、その後も続けるのか。

健康部長 国の動向を見極めた上で考えるが、継続出来るように前向きに考えたい。

問 夜間保育をぜひ行ってほしいという声があるが。

健康部長 前回の市民アンケートでは、夜間保育に対するニーズがあまり高いものではなかった。

問 現在、県内において、夜間保育を行っている公立保育園は無いが、何か問題があるのか。

健康部長 長時間保育は、子供の健全な育成という観点、児童福祉法の趣旨からも、踏み切れない部分がある。

問 今後はどのように考えるのか。

健康部長 次世代育成支援後期行動計画で検討させていただきたい。

問 アライグマの生息状況は。

8万2000円であるが、報告されない事が多く、実態はこれより多いと思われる。

問 被害への対策は。

市長 富津市有害鳥獣対策協議会へ捕獲駆除を依頼し、小動物用の箱などで、昨年度は42頭のアライグマが捕獲された。

問 アライグマを介して病気が感染する可能性があると思うが。

経環部長 アライグマ回虫など、病原菌を保持している場合があるので、触れないことが安全。



収穫前にアライグマに中身を食べられたスイカ

環境整備について

問 人類のすみか、地球が病的な状態である。地球温暖化の犯人は人類、ゆえに人類が解決をしなければならぬ。最優先課題だと思っ
 ます。安全で快適な環境整備の基本的な考え方を市長に伺う。

市長 危機管理や消防体制。交通安全教育や防犯活動。自然環境の保全や公害防止に努め生活環境の向上を図っていく。

問 教育施設整備の基本的な考えについて教育長に伺う。

教育長 第一に児童生徒の安全・安心を考える。校舎等の耐震補強設計、耐震補強工事をさらに進める。また、各学校の要望事項を精査し優先度に基づき順次進めたい。

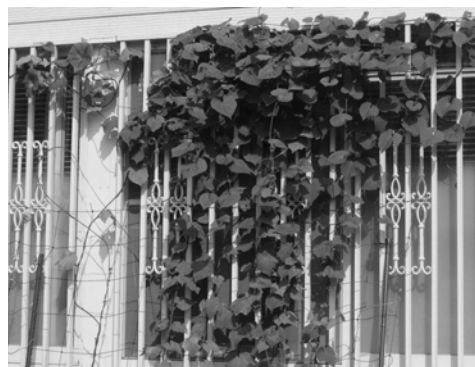
問 ゲリラ豪雨対策は。

総務部長 24時間体制でゲリラ雷雨メールを含めた防災気象情報を電話等により受け、防災行政無線を活用し市民へ情報提供を速やかに、職員の配備体制の強化を図っていくよう実施している。

問 資源循環型社会の取り組みは。

企財部長 地球にやさしい環境づくりにとって重要な施策と認識している。企業庁と連携を図りながら企業誘致を図っていききたい。

問 かずさクリーンシステムで産



ある事業所のグリーンカーテン。夏に涼しさを。

業廃棄物の処理は出来るか。

経環部長 恒常的に産業廃棄物の処理をすることは現在のところ困難な状況で今後の課題である。

問 以前、議会で議論になった富津中学校の多目的広場の環境は。

教育部長 夏に温度、照度、音の測定を行った。温度では朝一度程度、晴れた時は二度から四度涼しく、気温の低い雨天時では一度から三度温かく快適な環境。

問 学校施設のエコ改修は。

教育部長 施設の現状を把握して出来るものから実施していきたい。

問 福祉施設の芝生化の考えは。

健福部長 健康面やいやし効果があり、前向きに維持管理費がかからない方法等研究していきたい。



長谷川 剛
議員

行政視察

総務常任委員会

10月21日（水）～23日（金）、総務常任委員会は防災行政、企業立地の推進及び一般行政について、先進地である静岡県御前崎市／藤枝市／熱海市へ視察に行き、各視察項目の取組の内容を学んできました。



委員 長 長谷川 剛
 副委員 長 岩本 朗
 委員 鈴木 敏雄
 委員 竹内 洋
 委員 鈴木 幹雄
 委員 永井庄一郎
 委員 岩崎 剛久
 委員 十川 敬三

御前崎市 『防災行政について』

防災行政ということで、防災対策、各種補助金、そして駿河湾を震源とする地震発生の検証についての概要説明をいただきました。

市の災害対策における体制強化と、災害時初動体制確保、各課職員における防災意識の高揚と、円滑な災害対策の推進を図るため、各課及び関係機関に防災担当者を設置する規定を設け取り組んでいます。

各種の防災訓練については、市全体に組織されている自主防災会が積極的に参加し、自分たちのための訓練であることを考え、市民全員が訓練に取り組んでいます。また、8月11日に発生した地震での経験と反省を活かし、訓練のマナー化を防止する活動は参考になりました。

藤枝市 『企業立地の推進について』

環境経済部に企業立地推進室を設置し、企業立地推進ビジョン及び民間企業が持つ企業情報を活用した誘致を促進するため、企業立地コーディネーター制度を創設した、企業立地の取組概要について説明をいただきました。

推進ビジョンでは、長期での目標数値を設定し、毎年度の進捗を管理するとともに、企業を育む土台づくり、意欲ある企業に応える支援、地元企業への発展支援を基本方針として取り組んでいました。企業立地コーディネーターの取組、地元企業の振興を応援する資料など、富津市でも取組が必要ではないかと感じました。

熱海市 『市民満足度委員会について』

市民が満足できる弾力的行政運営を推進するにあたり、市民ニーズや満足度を調査し、その結果を取り入れながら新たな行政運営に取り組むため、この組織を市民と共に立ち上げています。市民アンケート等については、行政側からの一方的な用紙の送付ではなく、街頭でのアンケートを行い市民の満足度を調査する取組は大いに参考になりました。



広域行政ってなに？

上下水道や医療、社会福祉など行政に求める市民ニーズが広域かつ多様化しており、環境問題についても同様です。そのような諸問題に対して、行政サービスを図っていくためには、自治体単独での運営では限界があります。君津地区4市もしくは近隣市と連携し、※一部事務組合や共同出資、第三セクターなどとして共同で効率的に事務処理している主なものをご紹介します。

※一部事務組合とは、複数の普通地方公共団体が行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設立する組織。

○君津中央病院企業団（含む大佐和分院）

昭和39年に現4市（木更津・君津・富津・袖ヶ浦）で一部事務組合として運営、昭和43年に現在の桜井に移転、平成15年に本館新築移転し、現病院を開院しました。平成18年に経営の権限と責任を明確化するため企業团组织に改組し、君津中央病院企業団を設立。

所在地 木更津市桜井1010番地 ベッド数 661床

4市負担金（平成20年度決算）

市	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市
負担金	5億8195万円	4億2735万円	2億8082万円	2億986万円



君津中央病院



中央病院に配備されているドクターヘリ

ドクターヘリの出動実績（平成21年1月19日配備～9月末）

県南部50K圏内をカバー、
運営費は全額県負担

出動回数165回

現場～中央病院	46回
現場～他病院	71回
中央病院～他病院	32回
その他（診療後救急車 等で搬送）	16回

○君津富津広域下水道組合

君津富津両市で下水道に関する事務を共同処理することを目的に、一部事務組合として昭和48年設立、平成元年に終末処理場を供用開始。

事務所 君津市久保2丁目13番1号

終末処理場 富津市新富9番の2

終末処理場処理能力〈現況〉40,000m³/日

	君津市	富津市
普及率(H21. 4. 1 現在)	46.7%	11.1%
負担金(H19年度決算額)	10億5000万円	5億1000万円



終末処理場

○君津郡市広域市町村圏事務組合

昭和44年に君津郡市12市町村（現木更津・君津・富津・袖ヶ浦市）により、一部事務組合として設立
 主な事務は

市町村圏事務組合事務局	木更津市新田3丁目2番27号	関係市の職員共同研修や連絡調整
君津地方視聴覚教材センター	木更津市新田2丁目3番18号	16ミリフィルム、DVD等の貸出
天羽養護老人ホーム	富津市竹岡982番の1	65歳以上の在宅による養護困難者の入所施設
心身障害児通園施設	君津市外箕輪1041番地	きみつ愛児園・きみつあゆみ園
君津郡市夜間急病診療所	木更津市中央1丁目5番18号 木更津市保健相談センター1階	内科・小児科 20時～23時 毎日診療



天羽養護老人ホーム



きみつ愛児園

○君津広域水道企業団

昭和49年木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦町（現袖ヶ浦市）及び千葉県営水道へ水道用水を供給するため、昭和53年に設立
 千葉県と4市で構成

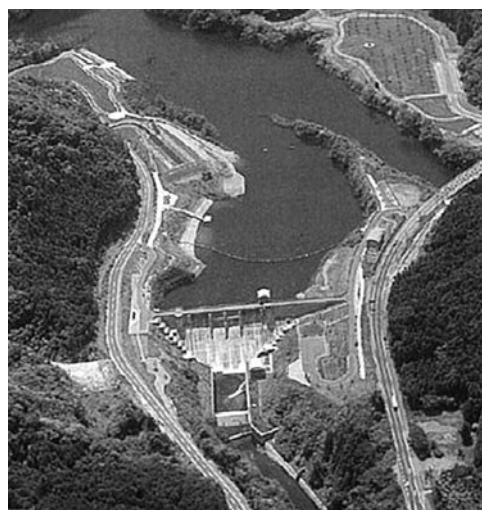
事務所 木更津市新田2丁目8番17号

水源 小櫃川水系の片倉ダム・亀山ダム

送水量 45,259,712m³

給水量内訳（平成20年度）

千葉県	18,665,990m ³	41%
木更津市	11,281,809m ³	25%
君津市	5,928,640m ³	13%
富津市	3,907,180m ³	9%
袖ヶ浦市	5,476,093m ³	12%



片倉ダム



かずさクリーンシステム

○(株)かずさクリーンシステム

第三セクター方式による一般廃棄物処理場

所在地 木更津市新港17番2

第1期200t/日 平成14年4月稼働

第2期250t/日 平成18年4月稼働

出資比率

木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市（各9%）

新日鉄エンジニアリング（株）（49%）

（株）エムコ（8.9%）、（株）市川環境エンジニアリング（6.1%）



83.4MHz

県内初のコミュニティー放送として活動してきた「木更津FM（周波数83.4メガヘルツ）」が、10月8日、新たに「かずさFM」として生まれ変わりました。ラジオブースは今までと同じ、JR木更津駅西口のアクア木更津の2階に。1日3回、生放送番組を編成し、地元の情報を更に多く発信したいと語っています。



6千t動く

富津公共岸壁で製作されていた橋桁が完成し、9月26日に60km離れた若洲の橋梁工事現場に向け、岸壁を離れました。この橋桁は、長さ235m、幅24m、鉄骨の量は6千トン。平成23年度に完成予定の「東京湾臨海大橋（仮称）・全長2,933m」の一部となります。



わあ、スゴイ！

富津市の総合防災訓練が9月27日(日)、午前9時から湊小学校で、湊地区の市民も多く参加し実施されました。救急救護訓練からチェーンソーの取扱い、土のうの作成・積み方、高所救出訓練の体験まで、様々な体験をしました。



100台の個性

クラシックカーが、4日間かけて1都9県、約1,520kmを走破するレース「ラ・フェスタ・ミッレミリア2009」。10月13日、チェックポイントの富津市金谷「ザ・フィッシュ」を通過しました。たくさんのお見物客からは、往年の名車のデザインに、驚きと歓声が。

●議会だより前号(No.150)に
右記の誤りがありましたので
訂正してお詫びいたします。



【訂正箇所】

3 ページ 2 段目の右から10行目の
5 ページ 4 段目の右から14行目の
5 ページ 4 段目の右から17行目の
7 ページ 2 段目の右から20行目の
7 ページ 2 段目の右から24行目の

【誤】

「本助成事業拡大を」
「1 リットルいくらか」
「1 リットルいくらか」
「基金対策臨時交付金」
「今回の経済基金」

【正】

を「本助成事業拡大を検討したい」に
を「1立方メートルいくらか」に
を「1立方メートルいくらか」に
を「危機対策臨時交付金」に
を「今回の経済危機」に

【編集後記】

約一年前、当時の福田首相は辞任の際に「永遠の今」という挨拶をしました。「過去のものは古いと蔑み今のものは新しいと愛でる、しかし今の新しいさが真に新しければその新しさは必ず時間を貫いていつまでも新しい。」太古の人類は今と全く同じ太陽を見ていました。しかしそれは今も変わらず新しい光を放っています。人にあたたかい政策とは普遍的な真と善をそなえています。その政策が本当に人の役に立つものであれば、それは永遠に新しさを手入れを怠らない事が大切だと思います。(務)

*日程は変更になることがありますので、議会事務局(80-1331)まで、お問い合わせ下さい。

18日(金) 10時	議案審議
16日(水)	委員長報告
15日(火)	常任委員会
14日(月)	常任委員会
11日(金) 10時	議案質疑
10日(木)	予備日
9日(水) 9時30分	一般質問
8日(火) 9時30分	一般質問
12月2日(水) 10時	議案の上程

ぜひ、議会傍聴に！
12月定例会日程